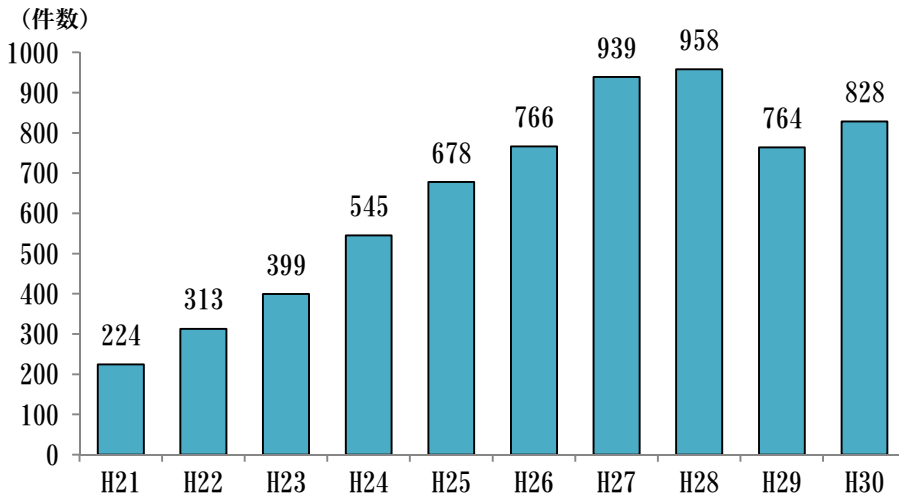


平成30年配偶者からの暴力事案等の対応状況

－ 大分県警察本部 ストーカー・DV等総合対策室 －

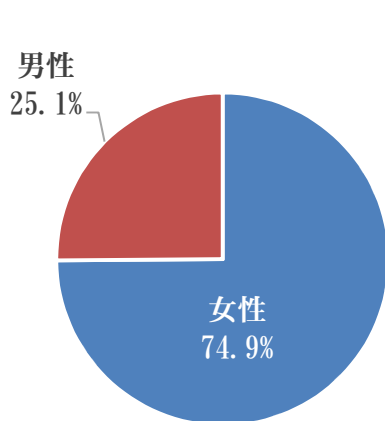
1 配偶者からの暴力事案等対応件数の推移（過去10年）



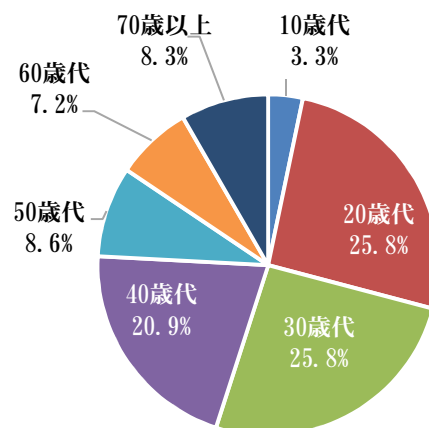
平成30年中の対応件数は828件で、前年対比プラス64件（+8.4%）と増加しています。

2 配偶者からの暴力事案等「被害者」の性別等（平成30年中）

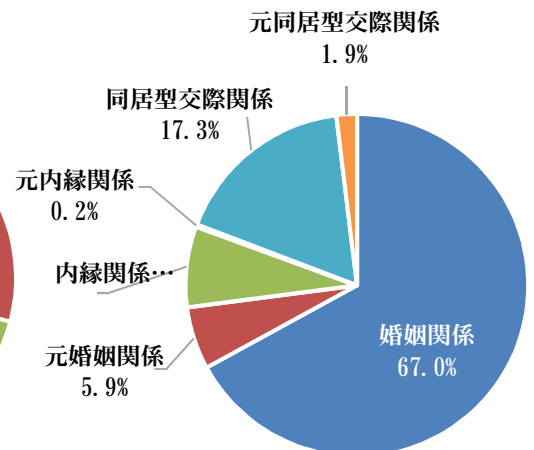
(1) 被害者の性別



(2) 被害者の年齢

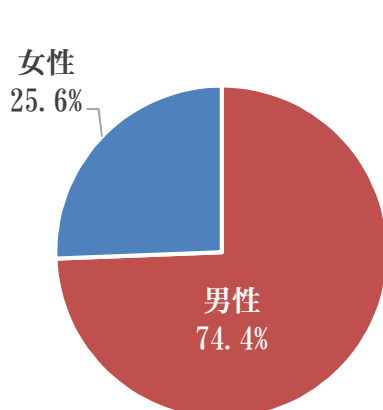


(3) 被害者と加害者の関係

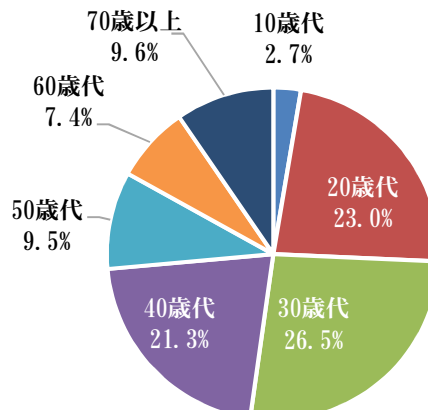


3 配偶者からの暴力事案等「加害者」の性別等（平成30年中）

(1) 加害者の性別



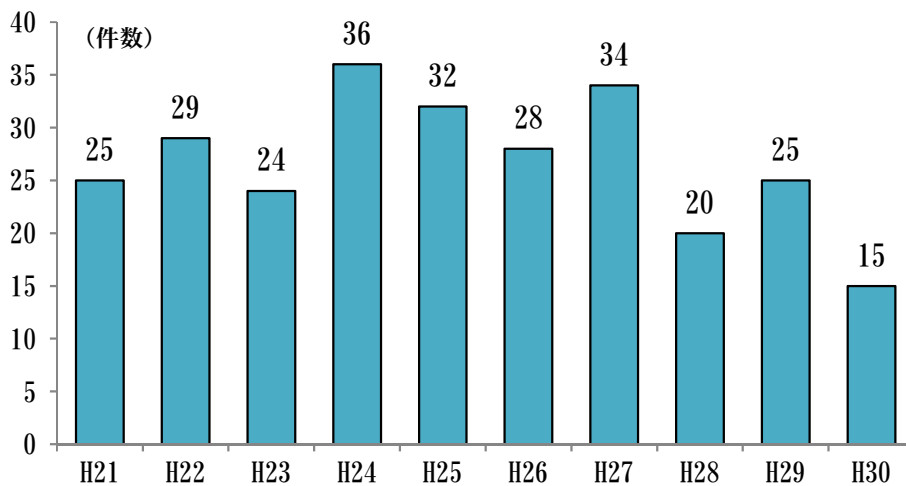
(2) 加害者の年齢



・DVの被害者は女性が多く、婚姻関係が約7割を占めています。
 ・年齢別では、20～40歳代が多く、70歳代以上も約1割となっています。

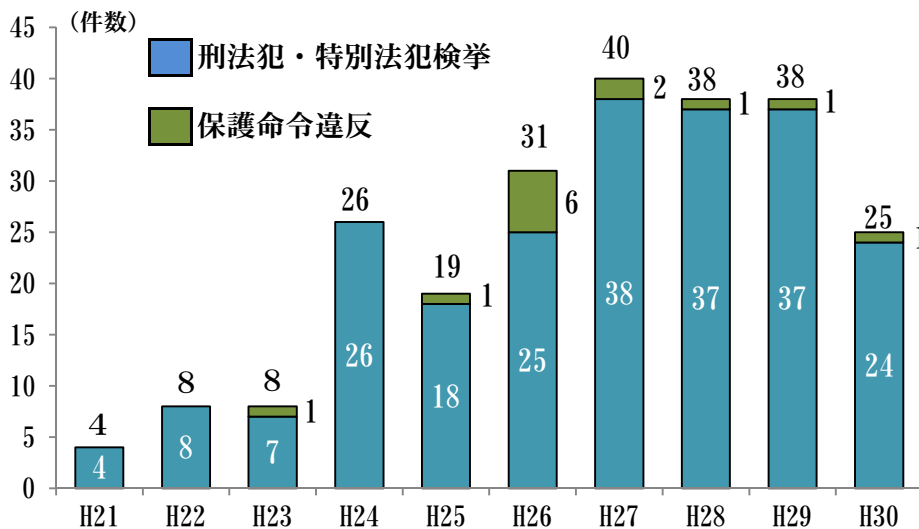


4 配偶者暴力防止法に基づく「保護命令」の推移（過去10年）



・「保護命令」とは、被害者からの申立てにより、裁判所が加害者に対し、被害者へのつきまとい等をしてはならないこと等を命ずることです。違反すると罰則を科せられます。

5 配偶者からの暴力等事案の検挙状況の推移（過去10年）



平成30年中の配偶者からの暴力等事案の検挙は、25件（前年比－13件）でした。

・刑法犯・特別法犯検挙の内訳は、暴行（8件）、傷害（12件）等になります。

・検挙のうち、被害者らの通報により現場臨場し、現行犯逮捕した事件は8件になります。

注）法改正を受け、平成20年1月11日施行以降は、生命等に対する脅迫を受けた事案について、平成26年1月3日以降は生活の本拠を共にする相手方からの暴力事案についても、それぞれ計上しています。